

承認	作成

デ 賞 受 審 後 課 題 整 理 表

作成：1999年 8月30日

機能名	重点活動の名称	効果指標	No	良かった点	不足な点	主な帳票名	検討結果		
							現 状 継 続	要改訂	廃止
品質保証	ミヤマ未然防止ツールの活用による品質不具合の低減	<ul style="list-style-type: none"> ●未然防止処置件数 ●DR指摘改善件数 ●業務改善件数 ●クレーム件数・損失金額 ●顧客満足度評価点 		<ul style="list-style-type: none"> ●未然防止が標準まで落とし込めるようになった。 ●顧客要求事項を施工計画へ結び付けられるようになった。 ●しくみ改訂に有効に機能した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●技術標準類の承認・確認作業を急いだため、内容確認が不十分。 ●施工中段階でのDR機能が不足。 <ul style="list-style-type: none"> ●顧客の立場に立った品質保証のしくみが不十分。(ISO9000sの必要性) 	技術標準・作業標準 品質マニュアル	○ ○ ○	○ ○ ○	
	施工品質のつくり込みの充実による施工トラブルの絶滅	<ul style="list-style-type: none"> ●施工トラブル件数・損失金額 ●顧客の品質評価点 ●仕事の出来栄に対する顧客の評価点 		<ul style="list-style-type: none"> ●小規模のトラブルを顕在化し、金額表示することができるようになった。 		施工トラブル処置票	○ ○ ○		
	品質・技術情報のデータベース構築による顧客対応力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●品質・技術情報DB登録件数 ●職場活性化評価点 ●技術提案引合い件数(基礎関連) ●MB7帳票登録件数 ●技術提案提出日数 		<ul style="list-style-type: none"> ●職場活性化より、間接的ではあるが、社員満足度の把握が可能になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●登録されたDBのチェックが不十分。 <ul style="list-style-type: none"> ●DB蓄積後の時間経過が短いため、顧客の対応力を見る時間が不足していた。 ●MB7を継続利用することにより、ツールとしての完成度の向上が必要。 	技術標準・作業標準	○ ○ ○	○ ○ ○	